

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		医療心理科		科 目 区 分		専門分野	授業の方法	講義
科 目 名		精神保健福祉特論Ⅸ		必修/選択の別		必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		3年		学期及び曜時限		後期	教室名	
担 当 教 員		吉川 恭子	実務経験と その関連資格					
《授業科目における学習内容》								
精神保健福祉士国家試験の合格を目標に、各科目に関連する過去の問題や予想問題に実践的に取り組みながら、知識の定着と解法のコツを体得する。								
《成績評価の方法と基準》								
試験70%、出席・平常点30%(出席・態度、時間内での小テスト)								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
適宜指示する。								
《授業外における学習方法》								
国家試験対策の参考書や問題集を用いての自己学習が必須である。学習したことの定着を図るために、授業内容を振り返りながら繰り返し学習すること。様々な分野の幅広い知識を関連付けて覚えながら学習に臨む姿勢が大切である。								
《履修に当たっての留意点》								
国家試験対策には、知識のインプットはもちろんテクニックも必要となる。したがって、新カリキュラム対策においても過去の国家試験問題や配布プリントを活用し知識のインプットと実践を繰り返しながら、国家試験の独特の「くせ」に慣れ得点に繋げていけるように展開する。								
授業の方法			内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	「社会保障」の重要ポイントについて学習し、理解する。			科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「社会保障」テキストに目を通しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	「社会保障」における重要ポイントの説明。					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「社会保障」の重要ポイントの定着と過去の関連問題や模擬問題等を解くことができる①。			科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「社会保障」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。	
		各コマにおける授業予定	「社会保障」関連の過去問題・模擬問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「社会保障」の重要ポイントの定着と過去の関連問題や模擬問題等を解くことができる②。			科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「社会保障」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。	
		各コマにおける授業予定	「社会保障」関連の過去問題・模擬問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	「権利擁護を支える法制度」の重要ポイントについて学習し、理解する。			科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「権利擁護を支える法制度」テキストに目を通しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	「権利擁護を支える法制度」における重要ポイントの説明。					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「権利擁護を支える法制度」の重要ポイントの定着と過去の関連問題や模擬問題等を解くことができる。			科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「権利擁護を支える法制度」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。	
		各コマにおける授業予定	「権利擁護を支える法制度」関連の過去問題・模擬問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	「障害者福祉」の重要ポイントについて学習し、理解する。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「障害者福祉」テキストに目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「障害者福祉」における重要ポイントの説明。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「障害者福祉」の重要ポイントの定着と過去の関連問題や模擬問題等を解くことができる①。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「障害者福祉」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。
		各コマにおける授業予定	「障害者福祉」関連の過去問題・模擬問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「障害者福祉」の重要ポイントの定着と過去の関連問題や模擬問題等を解くことができる②。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「障害者福祉」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。
		各コマにおける授業予定	「障害者福祉」関連の過去問題・模擬問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「社会福祉調査の基礎」の過去問題を活用しながら、内容を整理する。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「社会福祉調査の基礎」テキストに目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「社会福祉調査の基礎」の過去問等を活用しながら、知識の定着を図る。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「社会福祉調査の基礎」の過去問題を活用しながら、高得点を目指す。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「社会福祉調査の基礎」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。
		各コマにおける授業予定	「社会福祉調査の基礎」の過去問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図り、高得点を目指す。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「地域福祉と包括的支援体制」の過去問題を活用しながら、内容を整理する。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「地域福祉と包括的支援体制」テキストに目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「地域福祉と包括的支援体制」の過去問題等を活用し、実際に問題を解きながら重要ポイントをまとめる。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「地域福祉と包括的支援体制」に関連する問題で高得点をめざす。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「地域福祉と包括的支援体制」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。
		各コマにおける授業予定	「地域福祉と包括的支援体制」の過去問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	「刑事司法と福祉」の重要ポイントについて学習し、理解する。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「刑事司法と福祉」テキストに目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「刑事司法と福祉」における重要ポイントの説明。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「刑事司法と福祉」の重要ポイントの定着と過去の関連問題や模擬問題等を解くことができる①。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「刑事司法と福祉」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。
		各コマにおける授業予定	「刑事司法と福祉」関連の過去問題・模擬問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の共通科目全科目の総まとめ	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	①復習 ②過去問題を解く
		各コマにおける授業予定	統計データ問題等のチェック、その他共通科目の総まとめと対策を行う		